



湖西市「ゼロカーボンシティ」宣言について

湖西市の豊かな自然と、安心して住み続けられる環境を次世代に継承していくとともに、本市の産業の柱である「モノづくり産業」を将来も持続的に発展させ、環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと「職住近接」を実現するため、市民・産業界・行政が連携して地球温暖化対策を進め、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする湖西市版の「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

取組の4本の柱

①省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及

- ・省エネルギー型の住居・建物の建築や、再生可能エネルギー導入に対する支援等を行うことにより、利用と促進を図る。

【具体的な取組】

- ・住宅等の省エネルギー化の推奨、太陽光発電等の普及、次世代自動車・蓄電池等の導入に対する支援

②「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援

- ・市の柱である「モノづくり産業」が持続的に発展していくことができるよう、脱炭素化への取組を行う中小企業等に対して支援を行う。

【具体的な取組】

- ・自家消費型太陽光発電導入の推進、脱炭素経営に対する支援

③オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発

- ・エコなライフスタイルや脱炭素型のビジネススタイルを浸透させるため、市民、事業者、行政を含む湖西市全体で地球温暖化に対する意識の啓発を図る。

【具体的な取組】

- ・ゼロカーボン講座やイベントの開催、環境学習の開催、社員研修等の促進

④行政におけるゼロカーボン化の推進

- ・隣接する複数の公共施設で太陽光発電の電力を共有するほか、市役所が率先して公用車の次世代自動車化やLED照明の導入等を積極的に推進してゼロカーボン化を実現する。

【具体的な取組】

- ・地域マイクログリッドの構築、公用車の次世代自動車化、太陽光発電等の導入

■スケジュール

- ・令和3年度 市内のエネルギー発電・消費等の現況調査の実施
- ・令和4～5年度 地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）策定
- ・令和6年度以降 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、実行計画に沿った取組を実施

（裏面あり）

《メディアの方へ》

- 取材をお願いします。
- 事前告知をお願いします。
- 情報提供をします。

《発表種別》

- 記者会見発表資料
- 記者会見情報提供資料
- 随時

《問い合わせ先》

- 所属名 環境課
- 連絡先 053-576-1141
- 担当者 牧野、佐原

湖西市「ゼロカーボンシティ」宣言

～ 環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと「職住近接」の実現に向けて ～

近年、地球温暖化の進行により、これまでに経験したことのない集中豪雨や猛暑等の異常気象による災害が多発しており、湖西市でも 2018 年に台風 24 号の影響による大規模停電が発生するなど、生命や暮らしが脅かされる事態が身近に迫ってきております。

2018 年に公表された IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を 2℃未満とし、1.5℃に抑えるためには、2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることが必要」とされており、我が国においては 2020 年 10 月に菅総理が「2050 年カーボンニュートラル」を宣言し、脱炭素化への取組が国を挙げて強力で強力に推し進められています。

湖西市は、これまで自動車産業を中心とした「モノづくり産業」のまちとして発展する一方、浜名湖や湖西連峰をはじめとする豊かな自然環境が数多くあります。

こうした豊かな自然と、安心して住み続けられる環境を次世代に継承していくとともに、湖西市の産業の柱である「モノづくり産業」を将来も持続的に発展させ、環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと「職住近接」を実現するため、市民・産業界・行政が連携して地球温暖化対策を進め、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする湖西市版の「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

取組の 4 本の柱

- 1 省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及
- 2 「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援
- 3 オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発
- 4 行政におけるゼロカーボン化の推進

令和 3 年 7 月 21 日

湖西市長 **影山剛士**